

ですね。そういう意味で助かると思いますので、組合長とのその話し合いというのも、よく聞いておりますので、聞きましたので、早めにそういう協議をしてもらって改善してください。もう12漁協中、対馬は6月に総会が、漁協総会があつてますけど、全てに赤字ですよ、組合が。もう6,000万、7,000万、イカ釣り組合はどこの漁協も赤字出しとるやないですか。だから、そういう赤字が出ていますので、赤字が出たからこういう話をするんじゃないで、少しでも改善できるように、市長、お願いしておきます。

市長の答弁がそういう前向き、検討をするということですので、私ももうこれ以上くどくど言いません。本当に2つの質問させていただきましたけど、そういう前向き検討の答弁を頂きましてありがとうございます。これで終わります。

○議長（小川 廣康君） これで、大部初幸君の質問は終わりました。

○議長（小川 廣康君） 暫時休憩をいたします。再開を10時50分からといたします。

午前10時36分休憩

午前10時50分再開

○議長（小川 廣康君） 再開します。

引き続き、市政一般質問を行います。1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） おはようございます。1番議員、新政会の坂本充弘でございます。

質問に入ります前に、7月の大雨により、増水した川で一人が亡くられました。誠に残念な事故で、心から御冥福をお祈りいたしますとともに、御遺族の皆様には心からお悔やみ申し上げます。

また、同月末にも猛烈な雨が降り続き、大きな被害が出ております。対馬市では、29日午後2時半までの48時間に約500ミリの降水量を観測し、長崎地方気象台は「50年に1度の記録的な大雨」と発表しました。9月に入りますと、台風第9号及び台風第10号が立て続けに対馬を直撃しました。両台風による暴風被害がかなり出ているようでございます。被災されました市民の皆様には、心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧となりますよう祈念申し上げます。

それでは、通告に従い、質問に入らせていただきます。

1項目めは、市街地内における道路脇側溝の清掃について、2項目めは、バスと飛行機のアクセスについて、3項目めは、新型コロナウイルス感染症に係る児童生徒の今後の予防策についてでございます。以上の3項目についてお尋ねをいたします。

1項目めの市街地内における道路脇側溝の清掃についてでございますが、これは皆さんもよく

目にしていることと思います。道路脇には、側溝が造られているわけですが、水が吐けるように間隔を置いて金属製の蓋が置いてあります。通称、グレーチングと言っておりますが、この下に泥が堆積して雑草が生えてきております。国道に限らず、県道、市道にしても、またほかのまちにしても、このようなところがあります。しかし、比田勝のまちの中が一番ひどいのではないかという気がしております。歩道の上はボランティアで除草をしていただいている方もございます。この場をお借りし、厚くお礼申し上げます。

ところが、グレーチングのところは、車の往来が頻繁にあるため危険でできません。長い間放置しておりますと、景観もよくないし観光客には悪い印象を与えると思うわけです。また、大雨になったときには、水が流れないため冠水の要因にもなってきます。場所によっては車も走行できないような可能性も出てくると思います。

このような清掃作業は、どのぐらいの周期で清掃をされているか分かりませんが、せめて人通りの多い市街地や、小学校、中学校、また高校の通学路は歩道の除草も含めてもう少し早い周期で清掃をしていただきたいと思います。市長のお考えを伺います。

2項目めは、バスと飛行機のアクセスについてでございます。

3月29日から福岡への1便が10分早くなり、8時45分となっております。今まで比田勝発のバス、6時35分に乗っていた方が飛行機に搭乗されなかったという話を聞きました。

バスの時刻表によりますと、対馬空港への到着は8時32分となっており、仮に予定どおりに到着しても13分しかなく、その日は現実に搭乗されなかったというわけです。飛行機の搭乗については、手荷物検査等もありますので、余裕を持って時間前に到着しなければなりません。8時55分のときには間に合って搭乗できたということでございます。飛行機の時刻表については、ANAやORC、また国、国土交通省が関係してくると思いますが、そういうアクセスについて配慮できないのかお尋ねをいたします。

3項目めは、新型コロナウイルス感染症に係る児童生徒の今後の予防策についてでございます。

新型コロナウイルス感染症については、昨日も小宮議員の質問がありましたが、今日は学校でのイベント等について伺いたいと思います。

御存じのように、新型コロナウイルスの感染による対馬市内での感染が確認されております。現在、8月28日の9例目までを最後に止まっているようでございます。小学校、中学校も第2学期が始まっておりますが、集団生活をする学校内で、今後、修学旅行とか運動会、運動会については、もう終わっているところもあると思いますが、文化祭等のイベントが予定されていると思います。

それぞれの学校で、その開催の規模等については違いがあると思いますが、現実に感染者が出ている以上、その対策、予防策を講じていく必要があると思います。教育委員会としてどのよう

に考えてあるのか、教育長のお考えを伺います。

以上の3項目について、市長及び教育長にお伺いいたします。どうぞよろしく願いいたします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 坂本議員の質問にお答えいたします。

初めに、市街地内における道路脇側溝の清掃についてでございますけども、道路の維持管理において、除草作業は、交通の安全と環境面からも欠くことのできない重要な作業であると認識しております。市街地内の状況にもよりますが、毎年6月から8月にかけて、道路管理者が業者等に委託し、また、地域住民、ボランティア等により、道路敷きの除草作業が実施されているところであります。

現状を確認いたしましたところ、議員御指摘のとおり、側溝に雑草が生えている箇所もございますが、側溝の堆積土は、大きく側溝の機能を阻害するものではないというふうに思われます。

しかしながら、市街地は、市民に最も身近な生活空間であるとともに、多くの観光客等も行き来しているところでもあり、景観の美化を図ることは、観光振興には重要であると考えます。管理者の県にも除草等の対応をお願いいたしますが、やはり行政だけですべてを処理し続けることは、厳しいものがあり、今後は、地域と連携した対応を進めていく必要があると考えております。

次に、2点目の、バスと飛行機のアクセスについてでございますが、まず、福岡1便の出発時刻につきましては、ORCが保有するQ200の老朽化に伴い、対馬長崎便にANA保有のQ400をリースし、コードシェア便として午前中に1往復就航させることとなりましたので、Q400の機材繰りのため、福岡1便の出発時刻を早める必要が出てきたものであります。

バスのアクセスにつきましては、6時35分比田勝発の縦貫線の対馬空港到着時刻は8時32分であり、バスの到着が遅れた場合には飛行機に搭乗できないことが発生することもあるかと思われまます。

解決策といたしましては、一つは飛行機の出発時刻を遅くすることが考えられますが、この場合、1つの機体が複数の路線に就航しておりますので、他の路線との調整や各空港及び他の航空会社との調整も必要となります。

もう一つが縦貫線の比田勝発の時刻を早めることが考えられますが、この場合、仁田で縦貫線に接続しています伊奈線、仁位で接続しています小綱循環線と、仁位・廻線、浦底で接続しています仁位・琴線からの乗り継ぎができなくなるため、その4路線の運行時刻等の調整も必要となります。

つきましては、バスの時刻変更及び福岡便の出発時刻変更の両面から、関係者への要望や協議を行い、善処に努めたいと存じます。御理解をお願いいたします。

○議長（小川 廣康君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 坂本議員の質問にお答えします。

小中学校における運動会及び修学旅行への対応についてでございますが、運動会については、当初1学期に予定していた学校が、新型コロナウイルス感染症予防のため2学期に延期をして実施することになっております。中には中止をする学校や午前中のみで開催する学校もあります。

運動会の開催に当たっては、3密にならないような会場づくりや種目の工夫、種目減による時間の短縮、参観者の制限、参観者に対するマスク着用の徹底等、各校の実態に応じた感染予防対策を講じた上で実施するようにしております。

なお、市内での感染拡大の状況によっては、さらなる内容の精選や中止の選択についても常に視野に入れながら情報提供や指導をしております。

次に、修学旅行についてでございますが、従来、本土部への旅行を実施してまいりましたので、感染リスクを考慮しながら実施を判断する必要が出てきました。旅行目的地や対馬市内の感染状況等を十分把握した上で、保護者の希望や意見を十分聞きながら、各校で判断していくようにしております。

従来の本土部での旅行のほかに、壱岐や対馬市内への変更、次年度への延期、中止等、各校の実態を踏まえた選択肢について、こどもの命と健康を守ることを最優先に考え、計画を進めているところです。

なお、実施に当たっては、3密の回避、各見学地、宿泊先、車内等に応じた感染症予防対策を十分講じながら実施してまいります。

以上、運動会と修学旅行について説明をいたしました。学校行事等につきましては、今後も感染予防対策を十分に講じながら開催の必要性を吟味し、実施・中止の判断をしております。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） 御答弁ありがとうございます。

まず、1番目の市街地内における道路脇側溝の清掃についてでございますが、今日は写真を5枚ほど撮ってきておりますが、私の印刷がちょっと悪いために、大きくパネルにはしていません。大変見にくいとは思いますが、御了承を願いたいと思います。

まず、1枚目の国際ターミナル、これは、大川建設工業のあたりからです。見ても分かるように、ずっと側溝のグレーチングのところから雑草が生えております。

2枚目、2枚目は、埋立地の駐車場ですかね、その交差点の手前あたりから撮っております。これもグレーチングのところから生えてきております。

3枚目、3枚目と4枚目が比田勝小学校の前ですけれども、4枚目のこの写真、もう本当に雑

草が大きく育って、こういうふうになっております。歩道の方もいっぱい雑草が生えておりますけれども、ここは比田勝小学校の前になりますので、児童生徒さん、児童がよくこの横断歩道を渡って登校しておりますので、やっぱり景観もさながら、やっぱり何とか措置をしていただきたいなという気がいたします。

5枚目ですね、5枚目は、上対馬総合センターの上対馬庁舎の前からなんですけれども、やっぱり庁舎の前は、やっぱり行政の玄関口になりますので、みんな観光客もやっぱり気にかけてくると思うんですね。ここから先、港の方に向かう写真になりますけれども、やっぱりメインストリートにこういうふうに雑草が生えておりますと、今は観光客自体が少なくはなっておりますけれども、イメージ的にやっぱりよくないという気がいたします。

これも何とか対処をしていただきたいと思いますけれども、このグレーチングというもの、ちょっと重たくて、私も三宇田線でちょっと車で走ったときに、草が生えておりましたので、ちょっと止まって、人力で開けてみようと思ったんですが、とても土がやっぱり泥が入っていつて締まっているわけですね。重機みたいなやっぱり力が強いやつじゃないと上げることができません。一回、バールで私もこじ開けたことあるんですけれども、なかなか大きなバールでも開かないときがあります。やっぱりこれは業者の方をお願いしてやっていただかなければできないのかなという気がいたしました。国道になれば、県の関係がございます。できるだけやっぱり県のほうとも協議して、先ほど市長の方からは、今後、地域と連携した対応を考えていくという御答弁がありました。できるだけ、そのような考えで、私も賛成でございます。いいとは思いますが、このように長くなると、やっぱり花壇みたいになってくるもんやから、そこをもう少し何か早めに対応はできないかという気がするんですけれども、そのあたりいかがでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 先ほども答弁いたしましたように、今御指摘の箇所は、国道382号線になって、管理といたしましては県のほうが管理をしている道路でございますので、もちろん県の方にもお願いはしてまいりますが、なかなか行政だけでは対応することも厳しいのではないかと、このことを先ほど申し上げました。

そういう中で、できる限り、地域の方々と連携をした対応と申しましょうか、やはりボランティア等のお力をお借りすることも必要となるのではないかなというふうに私自身も思っております。

特に、今御指摘のありました上対馬総合センターの付近とかいうのは、私も、また上対馬振興部のほうと、できる限り日頃から指摘をされないように、そこら辺の清掃を心がけてほしいということをお願いするというふうに思っております。

○議長（小川 廣康君） 1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） ありがとうございます。やっぱり北の玄関口と言われる比田勝と、そして空港、そして巖原ですね、玄関口のまちは、観光客がやっぱり最初に訪れるところでございますので、このあたりはもう少し考えてしていただけたらと思います。今後、地域と連携した対応をしていただけて、それから本当のきれいなまちづくりを目指していただけたらなと思っております。

市長が観光に力を入れられるということで、おもてなしの心ですかね、それを醸成するというようなことで考えてありましたので、それを成し遂げていくようにぜひお願いをしておきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

それでは、2点目のアクセスの方にちょっと話を移したいと思います。

今回は、3月ぐらいから変更が、時刻表の変更があっていたと思うんですけども、この方は8月に乗られて、かなりもう変更されてからたっているんですけども、それが気がつかなくて、一応、この日は、前は乗れたので同じように考えていかれたんだと思います。それで、当日は、とうとう1便、2便、乗ることができずに、3便で帰ったということでございます。

そういうふうな、その日は大変困られたということございまして、こういう対馬空港行きのバスということになれば、今まで乗れて間に合っていたものを、このように、自分の不注意も、それはありますけれども、空港行きのバスということで、同じように間に合うものと考えて乗られたということございまして。その日は、本当に何か残念でたまらなかったということでございます。

先ほど関係者と協議をしていかれるということで、善処していきたいという返答を頂きましたが、飛行機の便数も減ってきて、飛行機の小型化になったんですかね、ジェットがですね。その辺にもなってきて、時刻表のダイヤが変わってきたとは思いますが、ぜひその辺のバスとの連携の対処をやっていただきたいと思いますが、市長の説明にも、先ほどバスの仁田・伊奈線とか仁位・琴線ですか、その辺のつながりもあるということでございます。その辺の協議を、いま一度やっぱり詰めていただいて、比田勝のバスが何とか間に合うように、そういうダイヤの改正ができないか、もう一度御答弁をよろしくお願いいたします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） また、詳しいことは、担当部長のほうに説明をさせますけれども、まず、この飛行機がQ200の老朽化によってANAのQ400型に変更になったということについては御理解をお願いしたいと思っております。

そしてまたさらに、この対馬空港だけじゃなくて、福岡空港、長崎空港、他の空港との便の調整の関係もありますので、なかなかここについて、こちらの要望どおりだけにはいかないということについても御理解をお願いしたいと思っておりますし、バスのほうにつきましても、時間を

単純に早めればいいじゃないかというようなことなんですけども、先ほども申しましたように、他の路線との調整がありまして、なかなか難しい問題があると。そしてまた、この縦貫線等でバスの時刻は、これ運輸局のほうにきちっと届けなくちゃならないということと、年に数回あります交通関係の審議会のほうで了解を得た上での変更になるということになると思いますので、各方面とは、今後も善処に向けて進めてまいりたいというふうには考えておりますけども、なかなか厳しいものはあるということは御理解をお願いしたいと思います。

担当部長のほうに詳しいことは説明をさせます。

○議長（小川 廣康君） しまづくり推進部長、武末祥人君。

○しまづくり推進部長（武末 祥人君） バスと飛行機の連携と時刻の変更の可能性と伺いますか、今市長のほうから御報告ありましたように、飛行機につきましては、他の会社、国内便、福岡空港の場合国際線も入っていますので、国際線もありますからなかなか難しいところがあると聞いております。

バスは、今市長の説明どおりなんですけども、飛行機の時刻が夏ダイヤ、冬ダイヤございまして、夏ダイヤが3月末から9月末、冬ダイヤが9月末から3月末ということになっていますので、もう冬ダイヤは決まっておりますので、次の夏ダイヤに向けて、もし可能であればということで、申し入れはしたいと思っております。ただ、それができるかどうかというのは、なかなか約束はしづらいところがありますが、そういう状況でございます。

○議長（小川 廣康君） 1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） ありがとうございます。できるできないではなくて、善処をお願いをしたいと思っております。

厳原からの空港行バスにつきましても、7時55分の出発が8時24分着となっております。空港着がですね。やっぱりこれも少し遅れれば間に合わなくなるというような状況でございます。バスだけじゃありませんけれども、ぜひ空港行ということになりますと、やっぱりそれで皆さん安心してそれに間に合うような感じで乗られると思いますので、善処した対応を協議をしていただきますように、そこはお願いということでよろしくお願いいたします。この2番目のアクセスの件については、これで終わりたいと思います。

3点目の学校のことでございますけれども、このコロナウイルス感染症ですね、皆さん御承知のとおり、比較的こどもには症状が軽いと言われております。しかし、どのような状況で感染者と接触するか分かりません。これまでどおり予防対策には万全を期していかなければならないと思っております。

運動会につきましては、島内で縮小したり、来賓関係の御来賓を遠慮していただいたり、規模縮小に向けて実施されている学校もあっていると思います。教育長が申されましたやっぱり3密

の回避とか時短、制限をしてマスクの着用、消毒ですね、そういうことも徹底してやっているということでございますので、今のところ安心できる状態ではないかと思っておりますけれども、子どもたちの命には代えられませんので、そこは気が緩まないように、ぜひ注視していただいで見ていただけたらなと思っております。

今後、修学旅行関係につきましては、今からまた、保護者と協議していただいで、実施するか中止になるか、ちょっとその辺、分かりませんが、学校によっても、また違ってくるとは思いますが、心配事にならないように、その辺は保護者とよく協議をしていただいで、そして、安心できるような選定ですかね、地区を選んでいただくとか、その辺をしていただいたらなと思っておりますが、教育長、最後に、その辺もう一回返答願えたらと思っております。

○議長（小川 廣康君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 現在、運動会に関しましては、中止をした学校が、小学校1校、中学校2校あります。それから、修学旅行に関しましても、コロナ感染を避けるために、これまで長崎や福岡方面に行っていた小学校のうち5校が対馬市内での修学旅行ということで、対馬市内へ変更することによって、ふるさと学習も同時に深めていってほしいというふうに考えております。

小学校で9校、中学校で4校が、まだ検討中ということで、保護者と相談をしながら今後は決定をしていくということです。

それから、中止をした行事としましては、各町で行われていました小学校体育大会であるとか対馬市音楽会、こういうものは、どうしても3密を避ける観点から中止の判断をしております。いろんな、2学期学校行事が文化祭等も行われますけれども、可能な限り3密を避ける形で、また感染防止対策を十分に行った上で実施をしていくように、今後も指導をしていきたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（小川 廣康君） 1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） ありがとうございます。修学旅行については、子どもたちも楽しみにしていることだと思います。場所がどこになるかというのは、それは学校のほうと、また保護者のほうと、よく協議をしていただいで決定をしていただければなと思っておりますので、ぜひ実施できるような体制で御指導いただいでいってもらえたらなと思っております。よろしく願いいたします。

少し時間早いようではございますけれども、これで私の質問は終わらせていただきます。今日はどうもありがとうございました。

○議長（小川 廣康君） これで、坂本充弘君の質問は終わりました。